

三月議会での一般質問

堀田 賢逸

特需の指定管理問題

今年初め、ある特別養護老人ホームにお邪魔をし、いろいろなお話をお聞きしました。その時、職員の方々から、指定管理者制度が導入されると自分たち職員はこれからどうなるのだろうと、非常に不安な気持ちを持つていてそれを打ち明けてくれました。そのような不安を抱えたままでは、介護する方もされる方も決して良い結果を生まないと想え、今後の職員と非常勤職員の立場について3月議会で質問しました。

質問

現在4施設（鶴寿苑、雄水苑、憩寿園、いきいきの郷）に従事している職員98人中84人が民間に派遣されます。国の職員が県や市に派遣される場合、一旦退職して県や市の職員になると言う。

① 今回の場合は、帰任計画もあるわけだから身分は市の職員のままと思うがその点はどうか。

② また4年かけて引き上げるとの事だが、職種が介護士、調理士、栄養士、生活相談員など専門の職員が多いが、帰任後の職場はどうのように考えているのか。

③ 帰任計画を意識して仕事に身が入りず、腰の据わった介護が出来なくなりはないか。利用者に対し申し訳が立たないようでは困る。

④ また非常勤職員は民間施設に採用していたたくとの事。そこで正職員への道はあるのか。またそのグループ内での人事異動も考えられるのか。

⑤ 北秋田市の「ケアタウン鷹巣」では指定管理者の変更が雇用問題に発展している例がある。横手市でも福祉行政のあり方や、雇用の安定など考えておくべき問題だと思うがどう思うか。

答弁

○ 一般職員の派遣は派遣法と派遣条例で派遣をし、非常勤職員は雇用条件が現状より悪くならないよう継続して雇用することを前提に募集したので派遣や非常勤職員の再雇用については支障はないものと考えている。

○ 専門の資格を活かせる職場への配置を考えている。

○ 公務員はどこでも懸命に働くのがそぞの職責を果たすことだと考えている。

○ 正職員への道は経験年数、資格の有無、仕事振りで決まる。グループ内の人事異動に市は関与できないが配置基準に支障が生じる場合は指導する。

○ 指定管理期間終了後のことについては、指定管理期間中の運営状況を確認しながら利用者にとって最も良い方法を検討することになります。



佐藤 純蔵

気になるメタボ



先日「風」発行編集委員会の席での「ひとコマ」。何気なく、体重減の話になり、編集委員長よりメタボの件で書いて下さる様頼われる。何も自慢の出来る話ではない、自分の「ひとコマ」である。

春の検診の事から始まる。先生にメタボの一人と言われる。別に自分としては気に入った訳ではない。そのときの体重は85kg、身長176cm。自分は血糖、血圧とも少々高め、醸酔クリニックに月に一回通院している。

ところが一ヶ月後、血糖、血圧ともほぼ正常な数値が出る。

計りに上がるやビックリ、80kgを切り79kgまで落ちている。先生に80kgまでは頑張つて落とすよといつも言われていた自分としては他の病気かなとを考えた。それにも不思議、身体が軽く体調も良くなる一方。考えた。春から忙しく、年代以上に働いた効果と自分に問い合わせ、無理せず、心地良い汗をかき、働く楽しみが出来た。なお、考えてみると妻の手作り納豆とウサギのごとく野菜食のせいかなと、チョット妻に感謝している。

【編集後記】

今度の「風」には二つの特徴があります。ひとつは、ただいた原稿がこれまでになくなかったこと、今ひとつは、活動の成果の報告ができただことです。

「りんご放任園」は、誰もが問題視していたでしょうかを出すことはできませんでした。解消に立ち上がりから2年余り、一定の解決に至りました。

様々な人が様々な形で闇わり、自分たちの問題を自分たちの手で解決できた。このことの意味はすばらしく改めて思います。思えば、為したから成ったのであって、為さなければ成らなかつたのです。大きな教訓として、今後につなげたいのです。「風」はこうした報告ができることを誇らしく思います。

自治会紹介

平鹿町醍醐沢の明沢自治会（佐藤富美雄会長、60世帯）では今年の総会で資源ゴミの自主回収をすることにした。

目的は、自治会会費の捻出と環境保護である。

回収は月一回、朝六時から八時までの間に、今は使っていない旧消防ポンプ小屋に各戸から持参してもらい、自治会の担当役員が受け付けている。5月に始まつたばかりだが7月までの三ヶ月で二万二千円の売却益を稼いだ。

市のゴミ回収日にも資源ゴミはまだ出しているので、自治会内の理解が深まればもっと収入は増える可能性がある。

自主的な集団資源回収は、市の業者などに影響を与えるものではなく（委託料等）環境意識を高めることにつながることから市としても勧めており、一石二鳥ならぬ、一石三鳥ともいえる活動。今後他の自治会へも広がっていくのではないかろうか。

回収しているもの

古紙、空き缶、ペットボトル、一升瓶、ビール瓶